

令和5年度 第4回豊中市介護保険事業運営委員会

令和6年(2024年)1月26日(金)

午後2時～午後3時10分

第二庁舎3階 大会議室

《出席状況》(介護保険事業運営委員会委員総数15名中12名出席)

豊中市介護保険事業運営委員会
◎小野委員、○辻委員、近藤委員、芦田委員、今井委員、橋本委員、村上委員、小林委員 西本委員、上田委員、長尾委員、樋口委員

(◎=委員長 ○=副委員長 委員名簿順)

事務局
福祉部：小野部長、甲斐次長兼地域共生課長、坂口次長兼長寿安心課長 長寿安心課：野田主幹、島田係長 福祉指導監査課：堂本課長 長寿社会政策課：山岸課長、森本課長補佐、高木係長、武部係長、溝田主事、小林主事 中根 健康医療部：松浪部長兼保健所長 コロナ健康支援課：岸田課長 医療支援課：山羽課長 保険給付課：鈴木保険長兼保険給付課長 保険相談課：千葉課長

《傍聴者》3名

《議題》

1. 第9期計画期間における介護保険料について
2. (仮)介護人材対策部会の設置について
3. 地域密着型サービス運営検討部会の所掌事項について
4. その他
(1) 部会報告について

《議事内容》

事務局 定刻になりましたので、令和5年度第4回豊中市介護保険事業運営委員会を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。

本日の出席状況をご報告いたします。

委員定数15名のうち、12名の委員が出席されております。したがって、規則で定める委員定数の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しておりますことを報告いたします。

■資料確認

■WEB説明

委員長 皆さん、こんにちは。

寒い日々が続きます。本当にこういう中でいろいろ激しい動きもありますけれども、委員会のほうはしっかりと、また最終段階ですので議論を行っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、次第に従って議事を進めてまいります。

第9期計画における保険料の設定及び準備基金の運用についてということで、最終の答申をまとめてまいります。

それでは、議題1、第9期計画期間における介護保険料について、資料の説明を事務局からお願いします。

議題1

■第9期計画期間における介護保険料について

事務局

【資料説明】

〈資料1-1〉第9期計画期間における介護保険料について

〈資料1-2〉答申書（案）

委員長

ありがとうございました。

まず、ただいまの事務局の説明にご質問、ご意見がありましたら承ります。

いかがでしょうか。

委員

私、国民健康保険の運営委員会にも参加しているんですが、通常、保険料の設定に関しては、過去の保険料の徴収率をご提示いただいております。豊中市は普通徴収をされていると思うんですが、それに関する収納率の説明がないのは、介護保険においては普通のことなのか理解できていないのでその点を教えていただきたい。

滞納があったときに保険料に影響すると思いますので、それを市としてどう改善されているのかということのご説明がないまま進めておられるような気がするのですが、その点をお教えいただければと思います。

国民健康保険と介護保険は違うのか、勉強不足で申し訳ないんですけどもご教示いただければと思います。

委員長

ありがとうございました。

まずは、重要な質問ですので、事務局のほうからお願いいたします。

事務局

保険料の徴収率につきましては、おっしゃるような徴収率が下がりますと保険料額は上がるようになっていきます。逆に、徴収率が高くなりますと保険料の設定額は安くなっていきます。

ただ、豊中市におきましては、介護保険料の徴収率は大体99%前後となっております。直近の数字だけではなく過去の数字を見ましても大体99%前後ぐらいの収納率ですので、第9期計画でそれを大きく下回ることはないだろうということで、今回保険料の設定をさせていただいております。

委員長

結構違いますね、そのあたり。前提ですので皆さんもご確認いただいております。ありがとうございます。

先ほど説明がありましたとおり、豊中市の特徴としてはどちらかというと比較的収入のある方のところの割合が若干上がっていて、全体として安定したものをつくりたいということと、これは社会保険の理念ですので全員でこの社会保険を支えていくんだということも含めてそういう考え方を持っていると。

もう一つは、先ほどの基金の問題に関しましても今後、本当にこれが予定どおりにいけばそのとおりなんですが、何かあった場合のために一定程度は残しておくということで、これは前回と同じような考え方なんだというご説明でした。

よろしいでしょうか。特にご意見ございませんか。

それであれば、先ほどの説明を含めまして、議題1の保険料及び準備基金の取り崩しの考え方については事務局のとおりということでよろしいでしょうか。

お認めいただいたということで確認させていただきます。ありがとうございます。

では、これをこの介護保険事業運営委員会の答申という形でさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは続きまして、議題2に入ります。

議題2は、「(仮)介護人材対策部会の設置について」、事務局から説明をお願いいたします。

議題2

■(仮)介護人材対策部会の設置について

事務局

【資料説明】

〈資料2〉豊中市介護人材対策部会設置要綱(案)

委員長

ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明にご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

いかがでしょうか。

では、せっかく説明していただきましたので、先ほどの説明の中で今回、令和6年から令和8年の中でこういう形をやっていくということで言われていまず見込みについてはどのように、見込みなのでどう進むかはなかなか分からない

いと思うんですが、どのように事務局として考えていらっしゃるのかというあたりを、少し補足的に説明お願いできればと思います。

事務局

今回のこの事業ですが、通常、市で事業を行うとしたら、市が直接事業主体となって行うことが多いんですが、今回は介護保険事業者さんが自主的に取り組む内容を実際に提案していただくという形で考えております。それも3年間でどういう人材確保対策を総合的に実施して確保していくか、介護人材につきましても、介護事業者の規模や種類、行っているサービス等についてもかなりニーズが異なってくるものかと思っております。

このあたり、介護事業者の中で総合的な人材対策の3年間の取組みの提案を企画していただいて、それを部会で選定を行い、本当に実効性のあるものか、公益性ができているのか、そういった視点で審査を行っていただいて、市としてはそれを支援していきたいと考えております。

委員長

ありがとうございます。

組立てとしてはまさに人材不足に陥っているような現場サイドから、どのような形で人材確保を考えたらいいのかといういろんなアイデアを持っている方々もいらっしゃると思いますので、そういうのを基に組み立てていきたいという、ボトムアップ型といいますか現場発想型といいますか、それをこの部会がオーソライズするといいますか、しっかりと公的なものとして確認しながら進めていく、そういう組立てだと伺いました。

いかがでしょうか。

特にご意見がなければ、ただいまの案について事務局案ということでよろしいでしょうか。お認めいただけますか。

〈異議なし〉

委員長

異議なしの声が上がりました。心強いです。ありがとうございます。

それでは、その案で確認させていただきます。

先ほどありましたように、部会員の指名につきましては委員長が行うということですので、追って指名させていただきます。よろしく願いいたします。

それでは続きまして、議題3に移ります。

議題3、「地域密着型サービス運営検討部会の所掌事項について」です。

事務局より説明をお願いします。

議題3

■地域密着型サービス運営検討部会の所掌事項について

事務局

【資料説明】

〈資料3〉豊中市地域密着型サービス等運営検討部会設置要綱（案）

委員長

ありがとうございました。

地域密着型サービス運営検討ということで、新たに先ほどご説明がありましたように介護予防に関しての事業者についてということに、それを加えていくというご説明がございました。これは制度上の変更に伴って、それを豊中ではどこでやるかということで、先ほどのような案を提案していただいたというこ

とでございます。

それでは、今の件についてご意見、ご質問等がありましたらお願いしたいと思えます。

いかがでしょうか。

この変更自体は大きな制度上の変更を受けて、豊中でどこを手入れするかということで出されてきている案なので、その形が妥当かどうかというご判断をいただければいいかと思えます。

特に意見はよろしいでしょうか。

それでは、ただいまの事務局案をお認めいただき、ご了解いただけるでしょうか。

ありがとうございます。では、事務局案のとおりということで確認させていただきました。

それでは、次の議題に移ります。

その他、部会報告についてということになりますので、事務局から説明をお願いいたします。

議題 4

■その他

(1) 部会報告について

事務局

【資料説明】

〈資料4〉令和5年度地域密着型サービス運営検討部会について（概要）

委員長

ありがとうございました。

ただいまの報告について何かございますか。よろしいですか。

今日の議題は以上ということになります。極めてスピーディーにここまで進んでまいりました。ありがとうございます。

では、そのほか事務局から何かございますでしょうか。

事務局

委員長からもありましたとおり、本日が最後の運営委員会ということで、当部の部長より一言ご挨拶申し上げます。

事務局

今年度、4回にわたり真摯なご議論を賜りまして誠にありがとうございます。小野委員長には一方ならぬご尽力を賜りまして、本当に感謝をいたしております。

第9期豊中市高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画（素案）ということで皆様にご審議いただいた内容を現在、パブリックコメントを1月11日から31日までホームページ上に上げるなどして市民のご意見を募集させていただいております。

昨今の各市町村は、子ども・教育分野において非常に重点的に発信されることが多いですが、豊中市は決してそれだけではなく、ご議論いただいた9期の計画に基づいて高齢者の福祉・介護保険分野についてもしっかりと進めていきたいと思っております。

その一つとして、本日議題に上がりました「介護人材の確保」、これは全国

的に見ても非常に厳しい、特に関東や山間部、地方は非常に厳しいということで、これは対岸の火事ではなくていずれ豊中にも来るだろうと考え、やはり現場の事業者さんにタイムリーに意見というんですか、いい案を出していただき速やかに実行していただくということを考え、予算が通ってという話にはなりません、今回企画をさせていただいて上程していきたいと思っております。

全国的にもあまりないかと思いますが、いわゆる事業者の提案を受けてという形はないかと思いますが、ぜひこれを豊中の市民力というものもすばらしいものがありますが、事業者の方々の力、これもすばらしいものがあると思っております、我々にないアイデアを生かしながら豊中の福祉、誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らせる町という形を打ち出しながら福祉施策を進めてまいりたいと思っております。

委員の皆様には、本当に多くご議論いただきましてありがとうございました。引き続き、ご支援賜りますようお願いを申し上げますご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

委員長

ありがとうございました。

先ほどご紹介がありましたが、今回でこの委員会としての最後ということになりますので、私のほうからも一言ご挨拶を申し上げます。

皆さん、どうもありがとうございました。

本当にこの間を考えてみますと、非常にコロナが大きい問題としてずっとあったということです。やっと昨年になってから5類に移行してきてポストコロナへの動きも動き始めていると。でも、決してなくなったわけではないということで、昨日うちの大学の関係者がコロナに罹患したという話もございましたけれども、様々そういう中でウイズコロナ・ポストコロナの中でどのように福祉を組み立てていくか、介護を組み立てていくかということで皆さんからいろいろご意見、アイデアもいただいていたところです。まさにそういう段階だということを感じていました。

もう一つは、これは私自身も地域福祉をメインに研究している人間なんですが、大きい国の流れとして地域共生社会という方向が出されて、具体的にそれを地域包括ケア、あるいは重層的支援体制整備事業という形で矢継ぎ早に方向が出されてきています。

これは、見る限り大きい政策の流れだなという感じもするんですが、もうちょっとしっかり見てみると、実は戦後の福祉の体制をこれまでやってきた縦割りという形でやってきたものを見直す時期になってきているんだと。これも、いわゆる福祉国家的な発想だけではなくて公と民がいかに本当に協働していかれるかということもそこには問われてきていて、つまり制度的な福祉の部分と自発的な福祉の部分を有機的に連動させていかないと全体としては福祉がうまく進まないんだというところまで、これはいい意味でたどり着いてきたと。

じゃあ、この仕組みをどうつくりますかということがまさに今問われてきて

いて、介護保険はそこで言いますと制度としての福祉というものをしっかりつくる部分にはあるわけですが、それは決してその制度の中だけ、なんと言いますか、自閉してしまうわけではなくて、様々な社会の問題、生活の問題と連動していますから、ほかの福祉の部分とどうつながっていくのかということも問われているんだなということを改めて感じています。

豊中はそのあたりをかなり意識されているように私は見えています。特に今回も、例えば地域福祉計画の目標が紹介されましたが、豊中らしい非常にポジティブなものが出されてきて私はそこまでやるんだというのを刺激も受けたんですが、そういうものをつながりながらこの介護保険というのは進んでいくということは皆さんと一緒に確認していきたいなと改めて思いました。

そして、これからにつきましては、まさに今、部長もおっしゃっていましたが、当面の問題として例えば介護人材の問題、そして当然財源にも恐らく絡んでくるでしょうし、でもそれだけではなくて、いわゆるサービスの質や意思決定支援、恐らく豊中市が目指している一人一人のその人らしい生き方、何歳になっても死のところまでその人らしい生き方の実現をどういうふうにつくっていくのかという課題は今後のものとして引き継がれていくと考えています。

この先いろいろ課題は当然出てくるとは思いますが、そういう問題を捉えながら次への期待ということも含めて私の思いという形で皆さんにご挨拶に代えさせていただきますと思います。

どうもこの間、ありがとうございました。今後とも皆様のご活躍を祈念しております。

以上、委員長のご挨拶でした。

事務局

どうもありがとうございました。

今回が第8計画期間中での最後の委員会となります。皆さん、本当にありがとうございました。